



2022年

# もも病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤 (水100%当り)	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水98%) スプレーオイル 2ℓ アブロードフロアブル 100mℓ キンセット水和剤 80 100g	発芽前 14日前 開花直前	— 3回 5回	300	せん孔細菌病 縮葉病 カイガラムシ類幼虫 ハダニ類	①【代替】キンセット水和剤 80・アブロードフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤の10倍(発芽前)でもよい。 *石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないようにする。 ②せん孔細菌病 発生園は、開花7日前にキンセット水和剤 80の1,000倍(開花直前まで、但し収穫60日前まで、5回以内)を特別散布する。
◆ せん孔細菌病対策：重要防除期間(開花直前 ~ 6月中下旬)の防除と併せて春型枝病斑の切除を徹底し、園地内の菌密度を減らす。								
2	月 日	開花直前	アビオンE(展着剤) 100mℓ IC ボルドー412 3.3kg	—	—	350	せん孔細菌病 縮葉病	*せん孔細菌病対策 開花直前~6月まで、春型枝病斑の切除を徹底する。 ①展葉後のボルドー散布は薬害を生じるため、散布時期を厳守する。 ②【代替】IC ボルドー412に代えて4-12式ボルドー液でもよい。 ③アブラムシ類発生園はウララ DF2,000倍(14日前、2回)を加用する ④アグレプト水和剤、アグリマイシン-100等の使用回数は、合計で2回までとする。尚、ぶどうにかかると種無し果を生じるため、飛散しないよう注意する。
3	月 日	落花直後	アビオンE(展着剤) 100mℓ サムコルフロアブル10 20mℓ パレード15フロアブル 50mℓ アグレプト水和剤 100g	前日 前日 60日前	2回 2回 2回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 うどんこ病 モモハモグリガ ハマキムシ類	
4	月 日	5月中旬 (前回から 10日後)	アビオンE(展着剤) 100mℓ モスピラン顆粒水溶剤 25g ストロビードライフロアブル 50g アグレプト水和剤 100g	前日 前日 60日前	3回 3回 2回	400	せん孔細菌病 黒星病・灰星病 うどんこ病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	
5	月 日	5月下旬 (前回から 10日後)	アビオンE(展着剤) 100mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ ハチハチフロアブル 50mℓ マイコシールド 66g	7日前 前日 21日前	5回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病・灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類	①【代替】シンクイムシ類・カメムシ類 発生園は、ハチハチフロアブルに代えて、イカズチWDGの1,500倍(前日、5回)を使用する。 ②カイガラムシ類 発生園は、コルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を加用する。
6	月 日	6月上旬 (前回から 10日後)	アビオンE(展着剤) 100mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g トレノックスフロアブル 200mℓ マイコシールド 66g	前日 7日前 21日前	3回 5回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類	
特別散布	6月中旬	マイコシールド	66g	21日前	5回	500	せん孔細菌病	せん孔細菌病多発園は、前回散布から7~10日後に今回の散布を行う
7	月 日	6月中下旬	アビオンE(展着剤) 100mℓ デランフロアブル 166mℓ ダーズバンDF 33g マイコシールド 66g	7日前 14日前 21日前	4回 5回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 ウメシロカイガラムシ	①カメムシ類 発生園はスミチオン水和剤40の1,000倍(3日前、6回)を加用する。 ①晩生種で、せん孔細菌病 発生園は、マイコシールドの1,500倍(21日前、5回)を加用する。*収穫前規制に注意する。 ②ナリアWDGはぶどう(ピオーネ、サニールージュ)、西洋梨・レクチェに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。 ③ハダニ類 発生園はコロマイト乳剤の1,000倍(7日前、1回)を加用する。
8	月 日	7月上旬	展着剤 10mℓ ナリアWDG 50g イカズチWDG 66g	前日 前日	2回 5回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アザミウマ類	
9	月 日	7月中下旬 あかつき等 最終防除	展着剤 10mℓ ダニコングフロアブル 50mℓ オンリーワンフロアブル 50mℓ エクシレルSE 20mℓ	前日 前日 前日	1回 3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ ケムシ類、ハダニ類	★有袋品種は除袋後に散布する。
10	月 日	8月上旬 なつっこ等 最終防除	展着剤 10mℓ ベルコートフロアブル 50mℓ アーデントフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①カイガラムシ類 発生園は、除袋後の散布にコルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を加用する。
11	月 日	8月中下旬 川中島白桃等 最終防除	展着剤 10mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g オーシャインフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①アザミウマ類 発生園は、ディアナWDGの10,000倍(前日、2回)を加用する。
12	月 日	9月上旬 極晩生種 最終防除	展着剤 10mℓ ベルコートフロアブル 50mℓ アーデントフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	★有袋品種は除袋後に散布する。
13	月 日	収穫後 9月上中旬 ~ 3回散布	アビオンE(展着剤) 100mℓ IC ボルドー412 3.3kg スミチオン乳剤 100mℓ	— — 3日前	— — 6回	500	せん孔細菌病 モモハモグリガ ナシヒメシンクイ ハマキムシ類 カメムシ類	①スミチオン乳剤は、1回目の散布のみ使用する。 ②【代替】IC ボルドー412に代えて、ムッシュボルドーDFの500倍(開花前まで)を使用してもよい。 ③コスカシバ 発生園は、ラビキラー乳剤200倍(休眠期、1回)を樹幹及び主枝に十分散布する。

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します